

2013年11月5日

クロスメディアの活用により、訴求力のある販促活動を支援

SkyDesk Media Switch の機能を独自のアプリケーションに組み込むためのソフトウェア開発キットを販売開始

富士フィルムグループの富士ゼロックス株式会社(本社:東京都港区、社長:山本忠人)は、紙とマルチメディアを融合するクラウドサービス「SkyDesk Media Switch」の機能を、お客様独自のスマートフォン用アプリケーションに組み込むためのソフトウェア開発キット (Software Development Kit、以下SDK) を11月5日から発売いたします。

「SkyDesk Media Switch」は、スマートフォンで印刷物を撮影すると、その画像に紐付けられた動画やWEBなどのマルチメディアをスマートフォン上に配信するクラウドサービスで、当社が提供するスマートフォン専用アプリケーションを利用したサービスとして提供しています。

SDKの提供により、「SkyDesk Media Switch」の活用シーンが広がります。お客様は、SDKを使って「SkyDesk Media Switch」を独自のアプリケーションに組み込むことで、販促用ちらしやポスターなど紙の情報から、動画やWEBの情報へと誘導し、訴求力のある販売促進活動や街の紹介などを行うことができます。

その一例として、当社と和歌山ゼロックス株式会社(社長:高松 武彦氏)、アプリケーションの開発を行う株式会社「紀伊民報」(本社:和歌山県田辺市、社長:小山洋八郎氏)は、田辺観光協会に対して、SDKを使い「SkyDesk Media Switch」の機能を盛り込んだスマートフォン専用アプリ「てくてく田辺」*を開発し、実証実験を行ってまいりました。

田辺観光協会は、このアプリケーション活用し、田辺市内のイベントなどと連携する企画など、官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業「文化の香りの城下町・口熊野田辺観光活性化事業」(観光庁)を推進する予定で、現在、田辺市内の街歩きをするためのWeb「田辺街歩きナビ」のプレオープンを記念して、このアプリケーションを使った「電子スタンプラリー」を実施しています。

*「てくてく田辺」

スマートフォンの案内で、街中を散策する無料アプリです。街中に設置した案内看板やポスターをスマートフォンで撮影・送信してアクセスすることで観光情報が得られたり、位置情報を利用して最寄りのお店を案内したりします。



「てくてく田辺」ホームページ

てくてく田辺ホームページ : <http://tekutekutanabe.kiilife.jp/>

【標準価格】

SkyDesk Media Switch SDK 利用登録

商品名	標準価格
SkyDesk Media Switch SDK 利用登録料	100,000 円

SDK をご利用いただくには、以下の商品をご契約いただく必要があります。

SkyDesk Media Switch 利用登録

商品名	標準価格
SkyDesk Media Switch 利用登録料	128,000 円

SkyDesk Media Switch コレクション

商品名	標準価格
継続利用コレクション（1 年契約）	32,000 円/月
スポット利用コレクション（2 か月有効。一括）	100,000 円

【SkyDesk Media Switch について】

「SkyDesk Media Switch」は、富士ゼロックスの米国関連会社「FX Palo Alto Laboratory, Inc.」が研究・開発した類似画像検索技術「Embedded Media Markers」^{注1}を活用し、スマートフォンで印刷物を撮影すると、その画像に紐付けられた動画や WEB などのマルチメディアをスマートフォン上に配信できる仕組みを提供するクラウドサービスで、料理マガジンなどに採用されています。

注1 独自の編集ツールにより半透明なマーカーを付加し、紙と電子コンテンツを紐づける技術

【SkyDesk Media Switch のシステム概要】

